

報道関係者各位

## 凸版印刷が SaaS 型自社開発サービスのユーザー認証システムとして Okta を採用

Okta Japan 株式会社（本社: 東京都渋谷区、代表取締役社長：渡邊 崇）は、凸版印刷（本社：東京都文京区、代表取締役社長：麿 秀晴、以下：凸版印刷）が SaaS 型の自社開発サービスで活用するユーザー認証システムとして、Okta のカスタマーアイデンティティ管理製品「Okta Customer Identity Cloud」（以下、Okta CIC）を採用したことを発表します。

凸版印刷では、「Digital & Sustainable Transformation」を中期経営計画のキーメッセージに掲げ、「情報コミュニケーション」「生活・産業」「エレクトロニクス」の3つの事業分野を中心として、多様化する社会的課題を解決するさまざまな事業を展開しています。2020年4月には「DX デザイン事業部」を新設し、社内のさまざまな事業を横断するデジタルトランスフォーメーション（DX）の取り組みを推進しています。

その一環として、お客様向けの SaaS 型システムを全て自社開発する従来の開発モデルを見直し、外部サービスを活用しながら自社が最も強みを発揮できるところに注力するシステム開発へのシフトを進めています。特に、自社開発サービスの提供に必要なユーザー認証システムは、ログイン周りのユーザー認証だけでなく、パスワード管理や最新のセキュリティ対策などさまざまな開発が必要となります。そのため、案件ごとに自社開発しなくても手軽にサービスの中に組み込める認証システムを求めていました。

この課題を解決するために採用されたのが Okta CIC です。Okta CIC にはユーザー認証システムを開発するのに必要な機能がひと通り搭載されており、それらの機能を手軽に自社サービスの中に取り組むことができます。これにより、認証システムの開発時間や手間、コストを削減でき、自社の強みをより発揮できるところに開発リソースを注力することができるようになりました。

凸版印刷ではこの Okta CIC を活用して、すでに迅速な自社サービス開発を実現しています。例えば、受発注した資材の手配状況や在庫の情報を管理する、資材管理・受発注システム「BRIDGITAL」は、Okta CIC を使って開発されました。



Okta CIC を導入した効果は開発面のみならず、サービスの運用管理・保守の面にもおよんでいます。自社開発した場合、IT 監査の対象となるログ情報を自社で管理する必要がありますが、Okta CIC を活用することで、暗号化された状態で Okta CIC 側がログ情報を管理するため、管理の負担を軽減できます。

また、設定変更のしやすさも挙げられます。例えば、認証トークンの有効期限を 3 時間から 1 時間に変えて欲しいというようなお客様からの要望があった場合に、Okta CIC であれば一切コードに触れることなく、管理画面上で数字を書えるだけで済みます。

さらに Okta CIC で認証システムを統一すれば、セキュリティアップデートや機能追加は凸版印刷側で行う必要はなく、Okta CIC 側がすべての開発したシステムに対して背後で一律に行います。

本採用に関する詳細内容は下記の導入事例サイトをご覧ください。

認証基盤の構築にモダンな Okta を採用し凸版の強みを活かしたサービス開発を実現

URL : <https://www.okta.com/jp/customers/toppan/>

## 凸版印刷について

凸版印刷株式会社は、社会的価値創造企業を目指して、「印刷テクノロジー」をベースに、「情報コミュニケーション」「生活・産業」「エレクトロニクス」の 3 つの事業分野においてさまざまな事業活動を展開しています。2022 年 3 月期の連結売上高は 1 兆 5475 億円、連結営業利益は 735 億円。連結従業員数は 5 万 4336 名を数え、国内に 77 拠点、国外に 154 拠点を構えます。

URL : <https://www.toppan.co.jp>

## Okta について

Okta は、独立系アイデンティティ管理のリーディングカンパニーとして、あらゆる人があらゆる場所で、あらゆるデバイスやアプリで、あらゆるテクノロジーを安全に利用できるようにします。最も信頼されているブランド企業は、Okta を信頼して安全なアクセス、認証、自動化を実現しています。Okta の Workforce Identity Cloud と Customer Identity Cloud の中核には柔軟性と中立性があり、ビ

ビジネスリーダーや開発者はカスタマイズ可能なソリューションと 7,400 以上のアプリケーションとの事前統合により、イノベーションに集中し、デジタル変革を加速させることができます。私たちは、アイデンティティがお客様のものである世界を構築しています。詳しくは以下をご覧ください。

URL: <https://www.okta.com/jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

■ Okta Japan 株式会社

広報担当：中田清光

Email: [kiyomitsu.nakata@okta.com](mailto:kiyomitsu.nakata@okta.com)

■ Okta PR 事務局（株式会社プラップジャパン内）担当：山本・中根・富安・藤沢

TEL: 080-9821-6995（山本携帯）、080-6859-3639（中根携帯）

Email: [okta@prap.co.jp](mailto:okta@prap.co.jp)